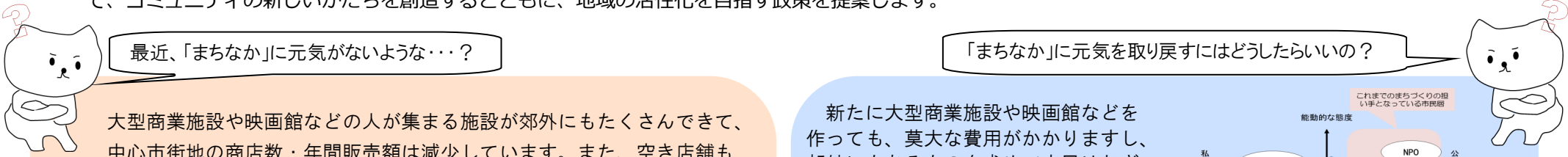


# LIFERALLY

ライフラリー

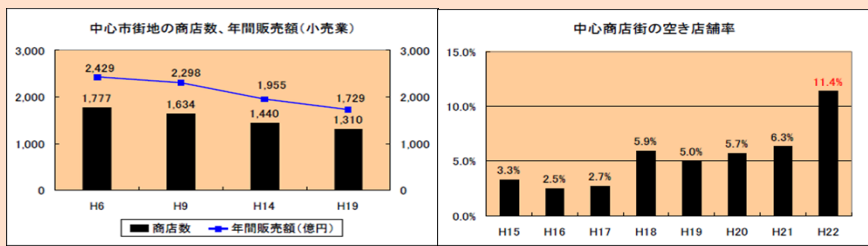
## ～本で人と人がつながっていく新しい図書館のかたち～

本を読むという行為そのものは一人で行うものですが、その本を通して「人と人」ひいては「人とまち」の新しい関係性の構築を助けることができないだろうか。そんな思いから、私たちは**LifeRally (ライフラリー)**を提案します。従来の図書館 (Library) よりも「その場所に集まる人」とその人たちの「生活 (Life) 」に注目し、テニスのラリー (rally) が続くように人と人がつながり、集まり (rally) 、化学反応が起こるような仕組みづくりによって、コミュニティの新しいかたちを創造するとともに、地域の活性化を目指す政策を提案します。

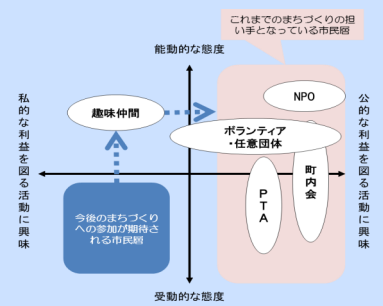
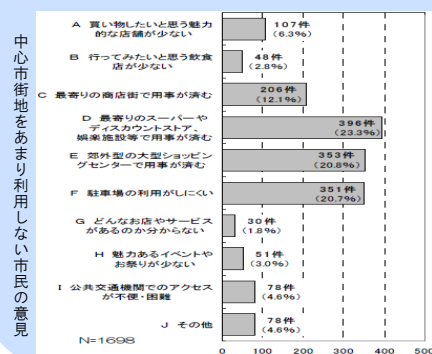


大型商業施設や映画館などの人が集まる施設が郊外にもたくさんできて、中心市街地の商店数・年間販売額は減少しています。また、空き店舗も年々増えています。

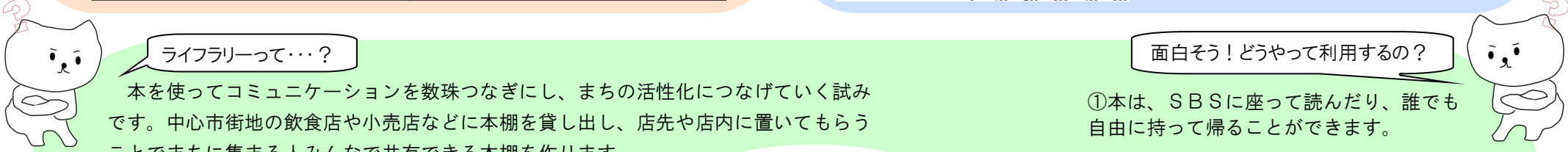
「くまもとの顔」である中心市街地の活力の低下は、都市自体の魅力の低下であり、行政が解決すべき大きな課題といえます。



新たに大型商業施設や映画館などを作っても、莫大な費用がかかりますし、郊外にもあるものを求めて市民はわざわざ中心市街地に足を運ぶでしょうか。



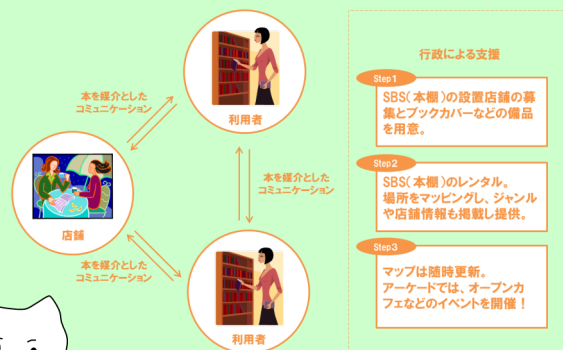
また、横並び的なまちづくりでなく、まちへの誇りや愛着心を醸成させるような取組みによって、これまでまちづくりに関わってきた人のみならず様々な人々を取り込み、持続性のある事業を目指す必要があります。



本を使ってコミュニケーションを数珠つなぎにし、まちの活性化につなげていく試みです。中心市街地の飲食店や小売店などに本棚を貸し出し、店先や店内に置いてもらうことでまちに集まる人みんなが共有できる本棚を作ります。

①本は、SBSに座って読んだり、誰でも自由に持って帰ることができます。

### LifeRally(ライフラリー)の仕組み



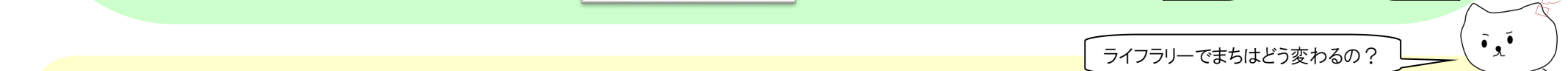
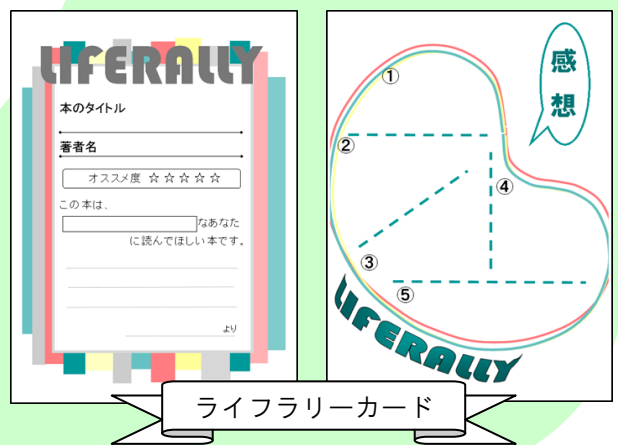
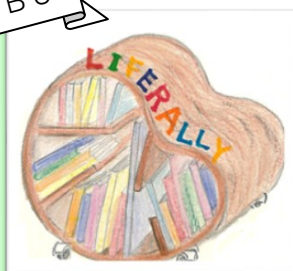
②読み終わった本、誰かにオススメしたい本があったら、本のテーマに合ったSBSをお持ちください。

③SBSに備え付けの「ライフラリーカード」(表面: 推薦文記入欄、裏面: 5人分の感想文記入欄)に、推薦内容、感想を記入しましょう。「専用ブックカバー」に挟み、SBSに並べてください。

④SBSから持ち帰った本を気に入れば返さなくても大丈夫ですが、読み終わった本を再度SBSに戻すと、その本がまた次の人の手に渡り、感想文が数珠つなぎになっていくという楽しみ方が生まれます。

### ～～。どんな本棚?

ソーシャルブックシェルフ (SBS) と名づけたライフラリー専用の本棚です。SBSを置いてくれる店舗 (20箇所程度) に貸し出します。SBSは本のジャンル別に5種類のテーマ (例) 「人生」、「恋」、「コワイ」、「学ぶ」、「たのしい」)に分かれており、それぞれの店舗によって異なるテーマのSBSが設置されています。SBSに本を置きたい人やSBSにある本を読みたい人は、店舗の場所、テーマを記載したマップ (各店舗に設置、市政だより等で広報) を元にSBSを見つけ、利用します。



まちはこれまで、主に人が消費をするための場所でした。しかし、人はこの本棚に本を置くことによって、自分自身もまちを作り出す1人になることができ、また、まちの風景の1つでしかなかった「まちゆく人」とゆるやかにつながることができます。このことによって、人は、まちに対してこれまでのように受け身一辺倒の関係ではなく、積極的な関係を持つことができ、人とまちとの双方向の関係が生まれます。

自分もまちで楽しみを提供する側になれる

まちの一部である見知らぬ人につながる

まちに愛着を持ち、まちの活性化になる

— 多くの人々がまちと積極的な関係を持つこと

それがまちの活性化につながるのです。 —

「T中さんとゆるい仲間たち」